

# 「しずおか公共サイン整備ガイドライン」とは

- 交通ネットワークの拡大に対応した誰にでもわかりやすいサイン整備 -

## 1. 背景と目的

### 観光及び景観への対応

静岡県では官民が一体となって、国際化や観光立県の実現に向けた取り組みの強化として「観光しずおか躍進計画後期行動計画」(H18.2)をはじめ、「新静岡県景観形成ガイドプラン」(H18.3)の策定や富士山の世界文化遺産への登録等、「おもてなし満足度日本一」の実現へ向けての施策を積極的に展開しており、国内外からの来訪者の受け入れ環境整備として、また沿道景観の向上を進める施策としても、公共サインの整備は、大変重要な施策のひとつとなっている。

### 外国人への対応

静岡県に来訪する外国人は年間約17万人、県内在住の外国人は約8万人と増加傾向にあり、ユニバーサルデザインや多文化共生の観点から、公共サインの多言語化、ピクトグラムの統一化が進められている。

### 交通網の拡大への対応

富士山静岡空港の開港(平成21年3月)や第二東名の供用開始(平成24年度)など広域的な交通ネットワークの進展等による交流人口の拡大が見込まれており、また、市町村合併に伴う市町村名の変更や区域が大幅に拡大したことなどによる道路案内標識の案内地名の工夫や見直し等が急務となっており、ユーザー重視の立場に立ったわかりやすい公共サインの整備が課題となってきている。



## 「しずおか公共サイン整備ガイドライン」

公共サインの機能と役割を改めて再認識した上で、設置主体や行政界を意識することなく移動する来訪者(在住者を含む)のために、道路管理者が設置する道路案内標識と、道路管理者以外が設置する観光案内・地域案内サイン等の公的情報提供(以下、公共サイン)について、「しずおか公共サイン整備ガイドライン」を策定することとする。

検討に際しては、公共サインに関わる国の指針である「わかりやすい道路案内標識に関わる検討会の提言」(H16.12)や、「観光活性化標識ガイドライン」(H17.6)などを踏まえ、県の関連計画および他の機関と連携し、観光振興の新しい仕組みづくりと共に地域での活動支援に取り組むこととする。

## 2. 対象とするサイン

ここで対象とする「公共サイン」は、道路案内標識、観光案内・地域案内サイン、散策マップ等の公的情報を提供するものを対象とする。

	サインの種類	設置者主体
道路案内	<p>道路案内標識（占用も含む）</p> 	主に道路管理者
観光案内	<p>観光案内サイン      地域案内サイン</p>  <p>散策マップ</p> 	主に地方公共団体
その他サイン		主に 地方公共団体以外

### 3. しずおか公共サイン整備ガイドラインの構成イメージ

#### . 背景と目的

#### . 対象とするサイン

#### . 基本理念

誰でも「円滑に移動」し、「観光資源や施設を楽しみ」、また「良い地域イメージを感じて頂ける」公共サイン

#### . 現状と課題

サインが足りない      情報がわかりにくい      サインが景観を損ねる      等

#### . 整備基本方針

##### 1. 円滑な誘導

1. 設置主体間の連携・調整
  - 1) 経路案内との役割分担
  - 2) 一貫したわかりやすい案内
2. 観光資源のランク分の考え方
  - 1) 地域特性に応じた情報（まちの構造や観光資源の分布）
  - 2) 観光資源のランク分
3. 案内標識の集約化（顕在化＝必要な情報を見つけやすくする）
  - 1) 道路案内と観光案内
  - 2) 公共サインと民間サイン
4. 多様な情報ツールとの連携
  - 1) 情報ツール（カーナビゲーション、携帯電話 等）
  - 2) 手持ち情報（道路地図、観光パンフレット 等）

##### 2. 国際化・観光客への対応

- 1) 外国語表記
- 2) ピクトグラム

##### 3. 景観・視環境に対する配慮

- 1) 景観への配慮
- 2) デザイン・色彩に対する配慮

##### 4. 公共サインの展開

- 1) 道路案内標識適正化アクション計画      （静岡県）
- 2) 地域別公共サイン整備アクション計画      （静岡県、市町、民間 等）

#### . 整備の留意点

#### . 参考資料

## 4. 今後の展開

今年度策定するガイドラインをもとに、道路案内標識適正化アクション計画と地域別公共サイン整備アクション計画を実施する予定である。

